

会員拡大特別委員会 事業計画

会員拡大特別委員会 特別委員長 村田 宰

在籍年数の短さは卒業までの期間に影響し、会員拡大をより強いられる要因となることから新たな候補者を獲得して、多様な人財を組織に迎え入れなければならない今、地域に向けて主体性のある会員拡大を推し進めることが求められています。地域に存続してきた確固たる公益組織として一人ひとりから同心協力を得つつ、共感の伝播から戦略的に同志を増加させて、持続的に組織を拡充する効率的な仕組みを新たに創出する必要があります。

まずは、地域の方々から組織の運動に対する共感を効果的に得るために、まちの課題から我々が運動を展開する意図や活動内容を地域の多様な人に伝えるとともに、入会を促す訴求力のある資料を作成することで、様々な人から組織の理解を得て同志を増加させる新たな戦略が確立されます。そして、活動基盤の要となる多様な人財を多く得るために、会員拡大特別委員会が先導してLOM全体や他団体及び行政を巻き込み、地域に向けて新たな戦略を活用した共感から得る拡大活動を実施する機会を設けることで、会員拡大に対する当事者意識を行動からより多くの人に育み、組織と地域が一丸となった全体拡大から多様な同志が生まれて組織力が向上します。さらに、定めた未来の実現に向けて運動を継続的に展開して地域を牽引する組織であるために、これまで地域を想い運動を展開してきた卒業生に感謝と敬意を伝えることや、1年間運動に邁進してきた同志を称えるとともに、組織の屈強さを示して紡がれてきた想いを継承する卒業式を開催することで、確固たる組織の伝統を受け継ぐ想いから強固な絆と活力を見出して次代へ飛躍する組織を創造します。

未来を創造する一味同心の人財が組織とまちに拡大されていき、我々の重要性や価値が周知され、地域に根強く存続する強固な組織から展開される運動の功績は、活力に重要な要素となり、地域により信頼を得た永続的に発展して次代に飛躍する組織が実現されます。

<事業計画>

1. 共感共同を得る拡大戦略の確立
2. 同心協力のある拡大活動の実施
3. 次代へ飛躍する卒業例会の開催